



災害体験VR^{360°}view

See, Change, Act!
見て、変わり、行動を！



120,000 人+
体験者数延べ（～2025年度）

140 所+
使用団体（～2025年度）

13 年+
実績年（～2025年度）



私たちの提供するVRとは？

「分かる」から 「動ける」へ

言葉や映像だけでは、なかなか伝えられなかった、災害の恐怖・緊迫感・判断の難しさを、VRで体験を提供。

提供後、体験した人は、
備え意識と具体的な行動が変わります。
それが白獅子の目指す防災教育です。

「知っている」から「動ける」へ。
See,Change,Act！

- 総務省消防庁第30回防災まちづくり大賞
『日本防火・防災協会会長賞』受賞
- 国土強靱化計画レジリエンスアワード2024
『優秀賞』受賞
- 防災・減災 × サステナブル大賞2024
『奨励賞』受賞

■ VRによる、疑似体験可能な災害ラインナップ

VR酔い軽減技術・高精細 3DCG、
4K・インターネット接続不要

水害・津波

洪水・浸水・津波の迫力を体感

土砂

山間崩壊・濁流の危険を可視化

地震

揺れ・倒壊・二次災害を体感

火災

煙・延焼・避難判断を体感



京都大学防災研究所、他共同研究実績
研究機関との共同研究での経験を活かした開発。



VR酔い軽減技術
人の目に合わせた60fps/独自処理による快適性両立。



多言語対応・国際展開
言語の文化を超えて防災教育を届ける。



スタンドアロン型・簡単に運搬や設定が可能
屋外テント内や展示場でも即使用可能。



自社開発・柔軟なカスタマイズ対応
地域の実際の地形・災害を再現可能。



行動変容を促す教育設計
「知っている」から「動ける」への変化を設計。

『災害体験VR』視聴中／視聴時間3～5分程度。



地域特有の地形も再現可能

3DCG / Photogrammetry 技術を用いた景観再現も可能。
日常の景色の中で、リアルな災害を作成。
個別開発は別途ご相談ください。

■ VRによる、疑似体験可能な災害ラインナップ

1日レンタル

1日～短期利用プラン 応相談

担当者へお問い合わせください

イベント・防災訓練に最適
最短1日から利用可能
機材送付・回収対応

防災セミナー
イベント向け

リース

継続利用プラン 年間

個別お見積もり
担当者へお問い合わせください

年次保守点検込み
コンテンツ選択可能
追加テロップ・カスタマイズ可能

定期講習
展示向け

販売

ライセンス購入 応相談

担当者へお問い合わせください

台数制限なし・複数台コピー可能
既存コンテンツへの追加も容易
様々なデバイスへ対応

地域への貸出
展示向け

■ ご利用の流れ



①お問合せ
・担当者が対応



②体験・説明
・体験、質疑応答



③契約
・各書類作成



④配送
・指定日配送



⑤ご使用
・展示開始

オプション内容

- ・モニター投影用映像
- ・スタッフ派遣
- ・VR用フェイスマスク
- ・ご使用について講習 などご用意

柔軟に
対応します！

▶ レンタルの場合：原則2日前に郵送でお届け。翌日返送可能。（ご利用日が土日祝でも平日にお受け取りできます）

■ 導入実績

自治体・消防本部

医療機関

教育機関

企業・BCP訓練

地域防災イベント

警察

自衛隊

保健・福祉機関

国際交流センター

活用シーン

自治体の防災イベント、学校、消防訓練、企業のBCP研修など、幅広いシーンで好評。リピート導入も多数。無料体験もご用意しています。活用事例の詳細は以下のQRコードからアクセスして、ブログをご覧ください。

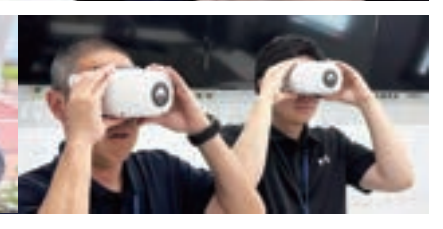


広島県、大阪市、浜松市他、
展示や地域での活用の様子は
左記のQRコードからご覧ください。

■「事故・怪我ゼロ」で延べ12万人へ災害体験を提供～これまでの災害体験 VRを用いた防災訓練・視察・セミナー講演実績



大型モニタ投影も可能!



■ **すでに140を超える自治体・期間・企業が、
地域と地域の方の行動を変えています。**

● **岡山市消防局 x 岡山大学との共同研究**

岡山市消防局 x 岡山大学との共同研究では、住宅火災をVRで疑似体験した市民の避難行動をデータ化。
心理学的分析により、最適な避難行動の導出に取り組んだ—これは全国初の試みでした。コンロ火災をリアルに体験できることで「消防局による避難広報のあり方が変わった」と担当者が語るほど、指導の質が向上。高齢者を含む幅広い年齢層が安心して体験でき、事故・怪我はゼロを継続しています。

● **とある自治体の方からの声**

「言葉だけでは伝わらなかった『自助・共助』の重要さを、VR体験を通じて地域の方々に伝える事が出来ています。
避難所はホテルではない—。そう伝え続けてきましたが、体感してはじめて『自分ごと』として受け取ってもらえた手応えを感じました。短時間で多くの方に体験していただけるうえ、体験後の住民同士の会話も弾み、イベント全体の雰囲気が変わりました。次回もぜひお願いしたいと思っています。」

広島県

広島県庁から地域での防災活動へむけて貸出中。

岡山市

市内の防災啓発へ活用。産学官での共同研究の知見を活かす。

浜松市

地元企業からの寄付事業にて、浜松市内の防災施設で活用中。

大阪市

市内の代理店を通して納品。防災啓発施設で活用中。

聖路加国際大学

災害医療分野での教育、研究で使用。他多数研究機関へ実績有。

他、約140所の団体・自治体・企業
研究機関へ販売 / レンタル実績！

◎ **体験者数延べ（～2025年度）** **120,000** 人+

◎ **使用団体（～2025年度）** **140** 所+

◎ **実績年（～2025年度）** **13** 年+

■ 研究機関との連携

岡山大学 × 岡山市消防局（2020年4月～）

『心理学 × VR で火災による死者をゼロへ』

岡山大学薬剤部・大塚製薬株式会社（2022年6月～）

『薬局 地震・避難体験 VR』

京都大学防災研究所（2022年9月～）

『『災害リスクの身体性認知促進を目的とした VR 技術開発』

JST / ムーンショット型研究開発事業』

東京大学生産技術研究所（目黒・沼田研究室）（2022年8月～）

『RC-77 / デジタルツイン防災 WG』

愛媛大学防災情報研究センター（2025年6月～）

『VR 技術を用いた地域防災教育に関する共同研究』

■ ご利用いただいた方々の声

● 防災施設説明員

中高校生、ご家族からも人気。
災害疑似体験後は展示説明し易い。

● 地域団体

世代を超えてみんなで体験でき、
地域の絆が深まりました！

● 自主防災会

実際の避難行動がリアルに体験でき、
いざという時の備えになります！

● 自治体職員

住民の防災意識が高まる、
効果的な啓発ツールだと感じました！

● 学校関係者

子どもたちが楽しみながら、
防災の大切さを自然に学びました！

● 消防

防災訓練では難しい緊迫感を、
VR でリアルに体感していただけます！

● 白獅子の災害体験 VR には、" 座学だけでは伝わらない "・" 訓練参加者が増えない "
" 世代間で温度差がある " など長年の課題を解決できたというお声を数多くいただいています。

■ よくあるご質問

「レンタルの場合、1人あたりの体験時間はどれくらいですか？」

▶ 約3～5分でご体験できます。

※選択する災害コンテンツ内容によって変動いたします。

「VR 機器は持っています。映像だけ提供してもらえませんか？」

▶ VR 映像データやアプリケーションのみの販売も行っています。

お気軽にお問い合わせください。

※レンタルの場合、映像のみのご提供はできません。ご了承ください。

「イベント当日以外の日（受取日など）も1日の費用換算されますか？」

▶ 設定スケジュール内（原則2日前）でのお受取は費用換算いたしません。

開催日が1日の場合「1日分」、二日の場合は「2日分」となります。

「小さい子供でも使用可能ですか？」

▶ 10歳以下のお子様へのご使用はお控えいただいています。

保護者の方のご同意が有ればその限りではありません。

「地域によって配送料は変わりますか？」

▶ 岡山を起点に郵送・配送いたしており、量と距離による配送料は変わります。

※金額については、お問合せください。

「VR 視聴中画面をモニタ投影出来ますか？」

▶ 技術的には可能ですが、本体の電池消費が多くなるため推奨していません。
代替案として、モニタ専用の動画（360° 視聴無）とタブレット端末を用いる
ことで、大型モニタでの動画再生が可能です。

「体験デモ、コンテンツの説明は可能ですか？」

▶ 端末を送付して無料体験（送料別）、現地、オンラインでの説明も可能です。
また、YouTube で手軽に視聴できるサンプル映像もご用意しております。

「VR 体験のみでなく、講演やセミナー企画は可能ですか？」

▶ 共同研究やこれまでの成果、取り組みや地域連携などの講演提供も可能です。
これまで、大学、自治体、保健センター、防災団体での実績があります。

See,Change,Act!

見て、変わり、行動を！



Contact us



XR / Metaverse & 3DCG
株式会社  獅子

本社／企画・研究開発ラボ
〒700-8530
岡山市北区津島中 1-1-1
岡山大学インキュベータ 214

東京広報室
〒107-0062
東京都港区南青山 1-20-2

TEL : 086-236-8869
FAX : 086-236-8247
Mail : info@snowlion.jp